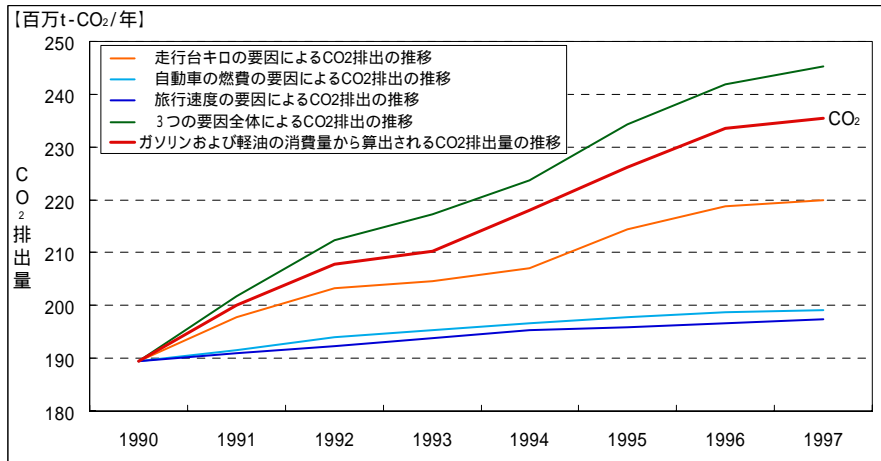


# CO<sub>2</sub>排出量推移の要因分析(1990～1997、1997～2002)

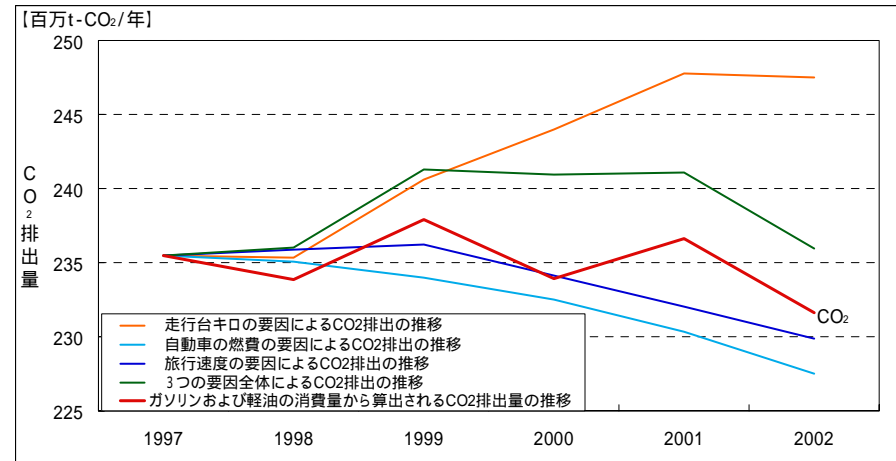
- 1990～1997年では、全要因が増加し、CO<sub>2</sub>排出量が増加
- 1997～2002年では、自動車の燃費改善と旅行速度の上昇により、CO<sub>2</sub>排出量が減少

## CO<sub>2</sub>排出量推移要因の内訳（全車種）

1990～1997



1997～2002



【算出根拠(なお、1990～1997年について記載しているが、1997～2002についても同様)】

$$\text{走行台キロの要因のみによる1990年以降各年のCO}_2\text{排出量} = 1990\text{年のCO}_2\text{排出量} \times \left[ \frac{\text{各年の走行台キロ}}{1990\text{年の走行台キロ}} \right] = (1) \dots \left[ \begin{array}{l} \text{但し、自動車の燃費} \\ \text{及び旅行速度は} \\ \text{一定との仮定} \end{array} \right]$$

$$\text{自動車の燃費の要因のみによる1990年以降各年のCO}_2\text{排出量} = 1990\text{年のCO}_2\text{排出量} \times \left[ \frac{\text{各年の理論燃費}}{1997\text{年の理論燃費}} \right] = (2) \dots \left[ \begin{array}{l} \text{但し、走行台キロ} \\ \text{及び旅行速度は} \\ \text{一定との仮定} \end{array} \right]$$

$$\text{旅行速度の要因によるCO}_2\text{排出量} = 1990\text{年のCO}_2\text{排出量} \times \left[ \frac{\text{各年の旅行速度に対応した排出係数}}{1990\text{年の旅行速度に対応した排出係数}} \right] = (3) \dots \left[ \begin{array}{l} \text{但し、走行台キロ} \\ \text{及び自動車の燃費は} \\ \text{一定との仮定} \end{array} \right]$$

$$\text{3つの要因全体による1990年以降各年のCO}_2\text{排出量} = 1990\text{年のCO}_2\text{排出量} \times (1) \times (2) \times (3)$$

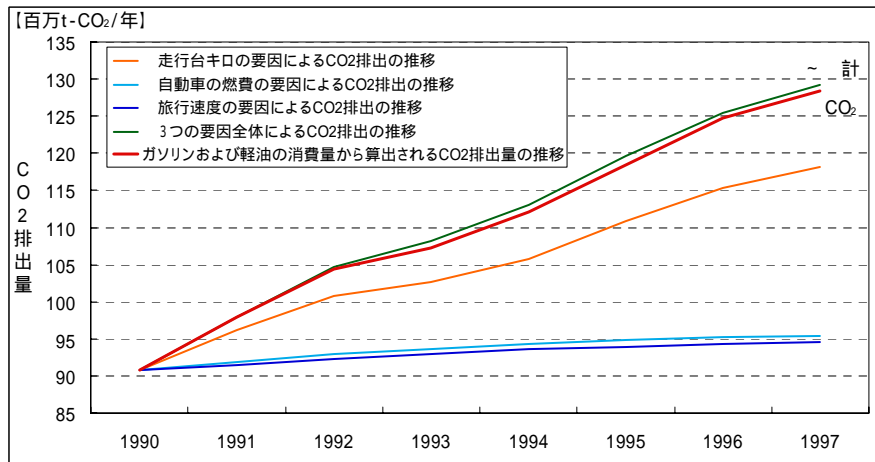
# CO<sub>2</sub>排出量推移の要因分析 (1990～1997、1997～2002)

- 乗用車では、台キロの増加によってCO<sub>2</sub>排出量が増加。
- 貨物車では、1997～2002には台キロの減少、理論燃費、走行速度の改善によって、CO<sub>2</sub>排出量が減少。

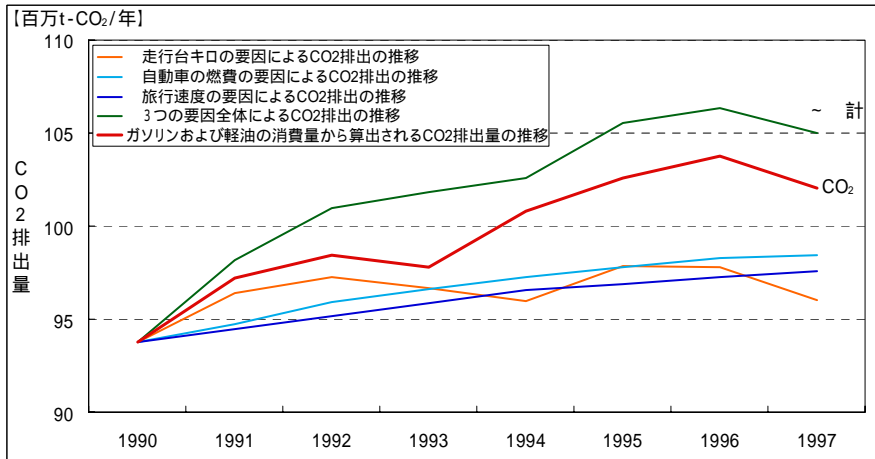
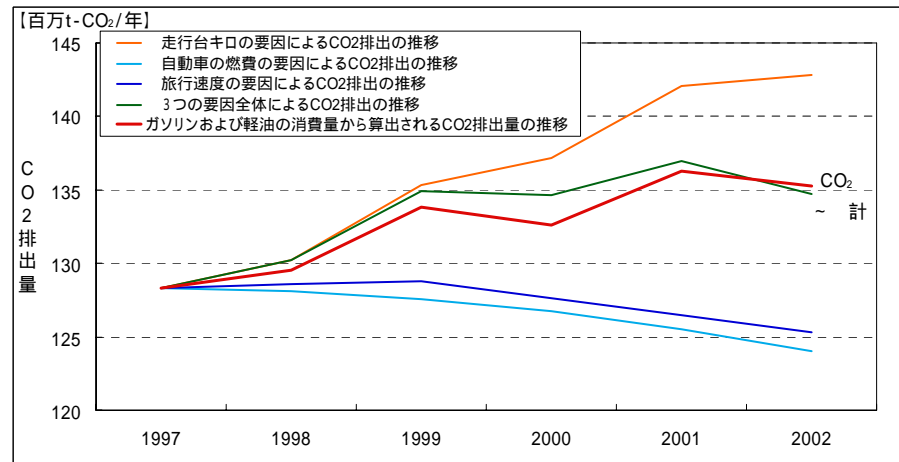
## CO<sub>2</sub>排出量推移要因の内訳 (乗用車、貨物車)

1990～1997

乗用車



1997～2002



貨物車

